

会 議 記 録

会議名称	令和7年度第2回杉並区がん検診精度管理審議会	
日時	令和7年12月24日（木）午後7時30分～午後9時21分	
場所	杉並保健所 3階 多目的室	
出席者	委員名	中山会長、青木委員、小田委員、塚田委員、井上委員、原田委員
	事務局	杉並保健所長、健診担当課長、健診係長、山口、石上、武、荒川、渋川
会議次第	1 委員委嘱 2 保健所長挨拶 3 議題 (1) がん検診（胃がん検診（胃内視鏡検査）を除く）チェックリスト集計結果について (2) がん検診（胃がん検診（胃内視鏡検査）を除く）プロセス指標について (3) 杉並区肺がん検診における喀痰細胞診の今後の取扱について	

会議要旨

1 委員委嘱

2 保健所長挨拶

3 議事

(1) がん検診（胃がん検診（胃内視鏡検査）を除く）チェックリスト集計結果について

各検診実施機関のチェックリストを確認した。各がん検診のいずれもが、とても良好な結果となっている。

胃がん検診（胃部エックス線検査）の撮影技師については、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を取得していることが望ましい。

(2) がん検診（胃がん検診（胃内視鏡検査）を除く）プロセス指標について

いずれの検診についても良好な数値である。精密検査受診率が非常に高い数値となっている。特に、大腸がん検診は高齢者の精密検査受診率が向上し難いが、高い精密検査受診率となっていて良い。

経年の推移からもプロセス指標値が非常に向上していて、区と医師会の取り組みの成果が反映されていることが確認できる。

目標値から離れた数値となっている医療機関に対しては、区から精度管理の向上につながるようなフィードバックをしていくことが必要である。

(3) 杉並区肺がん検診における喀痰細胞診の今後の取扱について

経過の確認：

国立がん研究センター作成の「有効性評価に基づく肺がん検診ガイドライン 2025年度版」において、重喫煙者に対する胸部X線検査と喀痰細胞診併用法が推奨度 D（実施しないことを推奨）とされた。このガイドラインの改正を契機として、国の「第45回がん検診のあり方に関する検討会」において、胸部X線検査と併用実施されていた喀痰細胞診について、指針において推奨する肺がん検診の項目から削除するよう指針を改正するべきであるとの議論がなされた。

議論の結果：

・喫煙率の低下等により喀痰細胞診の標的となる肺門部扁平上皮がんは減少しており、喀痰細胞診単独で発見される数も著しく減少していて、胸部X線に喀痰細胞診を追加することで得られる効果が非常に小さくなっている。

- ・検診の対象者は基本無症状であり、喀痰症状のない無症状者で喀痰細胞診によって発見される肺がんの数は極めて少ないと考えられる。

- ・喀痰がある者は有症状者であり、医療機関の受診が勧められる。

以上の理由から、杉並区肺がん検診の検査項目から、重喫煙者に対する胸部 X 線検査と喀痰細胞診の併用実施は、終了することが妥当である。